



夏だ！プールだ！楽しいな！（永野保育所）

# さかわ *Sakawa* 議会だより

87  
2021.8.1

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents 目次



コロナ終息の願いをこめて

5月臨時議会	2
6月補正予算可決	3
一般質問	
コロナワクチン接種関連	6・8・9・12
道の駅開業は	11

# 令和3年第2回佐川町議会臨時会議案内容

臨時会は、5月6日に開かれ、議案（3件）、報告（1件）、承認（2件）など6件を審議し採決の結果、賛成全員で全件を可決しました。令和3年度佐川町一般会計補正予算（第1号）についての専決処分の承認では新型コロナウイルスワクチン接種交通費助成事業費補助金として648万円の補正があり、65歳以上のワクチン接種希望者が自力で接種場所まで行くことができない場合の交通費を全額補助するための費用が承認されました。また、令和3年度佐川町一般会計補正予算（第2号）においては、新型コロナウイルスワクチン接種に関する費用2,893万4千円の補正があり、集団接種に必要な経費や町内医療機関への個別接種の体制整備委託料1,100万円などが補正されました。また、避難所運営マニュアルの改善委託料として167万8千円の予算が補正されました。

## 各議員の意思表明

賛否表（令和3年第2回臨時会：5月6日）

○：賛成 ●：反対 -：議長 欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和3年度佐川町一般会計補正予算（第1号）	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○
損害賠償の額の決定について	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○

## 議案質疑

令和3年  
5月臨時議会

佐川町一般会計補正予算

橋元議員 新型コロナウイルスワクチン集団接種に要する費用として説明があつたが、集団接種をどのように進めようと考えているか。

健康福祉課長 64歳以下の方も一定対応するものとして計20回の集団接種を想定して計上。

永田議員 ワクチン接種体制整備委託料として1千1百万円が計上されているが、どのような事業か。

健康福祉課長 個別接種を担っていただく町内5つの医療機関への委託費である。

## 【議会事務局・職員紹介】

議会事務局長 田村 正和



令和3年6月1日付けの人事異動により、議会事務局に配属になりました田村 正和です。

異動後まもなくの6月定例会も無事に閉会し、現在、令和2年度の決算審査に向けた準備を進めています。

今回、議会という重要な機関を補佐する事務局の一員となつたわけですので、円滑・適正かつ公平な議会運営に向け精一杯務めてまいります。

また今年には議員改選という節目の重要な年度でありますので、しっかりと準備していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

# 一般会計 6月補正予算 2億5,153万円の増額補正を可決

## 6月定例会で決まりました

6月定例会は、6月4日から10日までの会期で開かれました。

報告3件、令和3年度の補正予算をはじめ、条例改定、契約締結など15件を審議し採決の結果、賛成全員及び賛成多数で18件全件可決しました。

一般質問には9人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

令和3年6月補正予算（単位：円）

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	2億5,153万	82億5,606万	
特別会計	国民健康保険	36万	19億4,003万
	介護保険	339万	18億7,376万
	後期高齢者医療	△81万	2億3,569万
水道事業会計	2,298万	2億8,175万	

### 条例関連

佐川町議会議員及び佐川町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定

佐川町議会議員及び佐川町長の選挙において、選挙運動用自動車の使用ビラの作成、ポスターの作成の公費負担に関し必要な規定を定めるため、新たに条例を制定する。

佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少したこと等による第1号被保険者に係る介護保険料の減免措置を実施するため所要の改正する。

佐川町手数料条例の一部を改正する条例の制定

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正されたため、条例の一部を改正する。

佐川町議会議規則の一部を改正する規則

令和3年「標準」町村議会議規則の一部改正が決定されたことに伴い、佐川町議会議規則の一部を改正する。

### 工事請負契約締結

佐川町役場庁舎非構造部材等改修工事  
(変更後契約金額)  
3億4,560万7千円  
(契約の相手方)  
株式会社 晃立

### 物品購入契約締結

消防団ポンプ自動車の購入  
(契約の方法)  
指名競争入札  
(契約金額)  
2,935万円  
(契約の相手方)  
株式会社 藤島

### 計画策定

四ツ白・二ツ野辺地に係る総合整備計画の策定

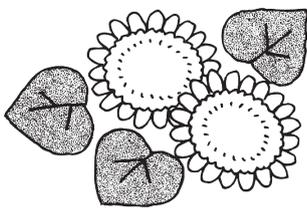
中野・瑞応辺地に係る総合整備計画の策定

加茂辺地に係る総合整備計画の策定

庄田・大田川辺地に係る総合整備計画の変更

尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の変更

辺地対策事業債の借入に必要な整備計画の策定または変更



# ここを 聞いてみた

# 議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

## 一般会計補正予算

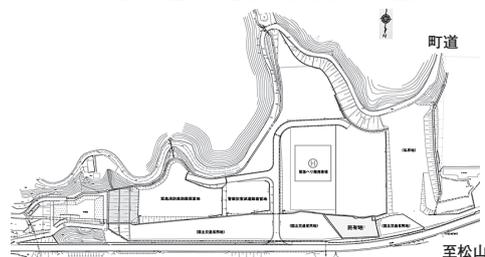
**坂本議員** コロナ対策補助金としてバスやタクシーの空気を清浄するため、495万4千円が組まれているが、これはどんな空気清浄機か。また、どれくらいの換気能力があるのか。

**チーム佐川推進課長** 座席にウイルスが付着することを防止するため、高性能フィルターを搭載した空気清浄化装置である。これにより20分間で99.9%ウイルスを除去できる。



バスやタクシーに空気清浄機を

佐川町道の駅建設予定地(加茂・霧生間)



至高知 国道33号 至松山

**西森議員** 道の駅実施設計委託料として約548万が計上されているが、これはどこに委託し、いつ完成するのか。また価格は適正か。

**副町長** この委託業務は、道の駅の南側の広場を整備するものであり、建物の設計と一体となつてやつてもらえる業者が望ましいと思っている。完成は年度内。また価格については予定地が3千㎡あり、公園の標準的な設計価格である。

**西森議員** 外国人観光客受入環境整備補助金として200万円が計上されている。今、世界中コロナで大変な時に不特定の外国人観光客を受け入れる状況にあるのか。また環境整備とは何をするのか。

**チーム佐川推進課長** 今は受け入れる状況にはないが、コロナが収束する時期に備え、黒岩の観光農園にトイレや多国語の案内板をつくる。

**下川議員** 農業振興地域整備委託料が組まれているが、この中で人・農地プランとはどんな計画か。

**副町長** これは誰が事業主体となつて、どこで何を栽培するのかを明確にするための計画。今後は、この振興策に基づいて重点的に支援していくことになる。具体的には農地情報のデジタル化に110万円。そしてこの地域でだれがどんな作物を作るかなど、将来にわたる計画づくりに約826万円となつ

ている。

**下川議員** 学校にコロナ対策として組まれている消耗品とは何か。

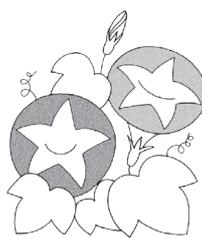
**教育次長** 各学校の実情に応じて弾力的に活用するが、備品購入や感染症予防対策費などを想定している。金額は佐小のみ120万円。他は80万円である。



佐川町教育委員会

**橋元議員** 会計年度任用職員はこの1年間で10名減つて補充は2名のみ。今、コロナ対策を含め、ワクチン接種など多忙な時期であるが、一人当たりの職員の負担が大きくなるのではないか。

**総務課長** 各課の業務量を踏まえた要求により職員を配置しているが、今後、想定外の業務が増えれば、臨機応変に対応する。



**永田議員** コロナ対策として住民税非課税世帯に商品券を配布することだが、その対象世帯数と人数は何人か。

**チーム佐川推進課長** 対象世帯数については、今回、非課税者のみをカウントしたので、世帯数は把握していない。なお非課税者は4千865人いるが、この中には課税対象世帯の中にもいる人もいるので、これを差し引いて支給対象者は約4千800人を見込んでいる。

# 補正予算討論

## 反対討論

西森議員 今回の補正は、町民生活にとって大切な予算が含まれていることは重々承知しているが、道の駅実施設計委託料なるものも含まれている。この道の駅については、

町長は3月議会で住民にも議員にも説明不足だったので、近く完成する基本構想をもって、しっかりと説明することによってあった。しかしこれもまだ完成していないばかりか、ロクな説明もないままどんどん進んでいる。

また、開業後に経営赤字が出て税金で補填するということであれば、なおさらのこと住民の理解と覚悟が必要である。

よってこのように拙速に毒も薬も合わせ飲ませるような予算には到底賛成できず反対する。

## 賛成討論

中村議員 この予算には町に道の駅を早期に建設してほしいという2千名に及ぶ請願書が議会に出され全会一致で承認され、スタートした道の駅予算も含まれている。

この事業は令和5年4月開業の計画で、予算を通さなければ道の駅事業に重大な影響が及びかねない。佐川の希望の芽を摘み取らないために、この予算を通すよう理解を願う。

### 水道会計補正予算

西森議員 317万9千円の実施計画委託料が計上されているが、どのような方法でどこに委託するか。

建設課長 指名業者を選定し、指名競争入札を行う。

### 各議員の意思表明

賛否表（令和3年6月定例会） ○：賛成 ●：反対 -：議長 欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和3年度佐川町一般会計補正予算（第3号）	○	○	●	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度佐川町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町議会議員及び佐川町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
四ツ白・ニツ野辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
中野・瑞応辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
加茂辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
庄田・大田川辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
尾川・斗賀野辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

コロナワクチン保育士・教員への優先接種

# 取り組むべきだ

健康福祉課長 その方向で検討したい

松浦 隆起 議員



9人が町政を問う

# ここが聞きたい



安心して保育を！（若草保育園）

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種において、変異株による低年齢者への感染発症例も頻繁に報告されるようになってきている。園児や子どもと接する機会の多い保育所の職員、学校の職員の方も優先接種の対象として考えられる。近隣町村と連携をし、可能であれば優先的に接種する方向で取り組むべきだ。

岡崎健康福祉課長 ワクチンの供給が安定的になってきたことで、一定自治体の裁量にある程度

## 道の駅にインクルーシブ遊具

# 設置すべきだ

町長 設置したい

任せられるような形になってきている。優先的に接種する方向で検討したい。

道の駅への遊具の設置について担当課では遊具を設置するエリアの検討がされている。そこに、インクルーシブ遊具を設置してもらいたい。インクルーシブとは「仲間はずれにしない、みんな一緒に」という意味がある。障がいのあるなしにかかわらず、みんなが一緒に遊べる遊具が、インクルーシブ遊具だ。

掘見町長 インクルーシブという視点、考え方は大切であり、今後の世界の大きな流れになると理解している。素晴らしい考え方だと思つので、インクルーシブ遊具を設置して、すべての方が楽しく一緒に遊べる公園ができればいいと思つている。

教育次長 令和4年度運用に向けて

# 奨学金返還支援制度 取り組むべきだ

奨学金の利用者の負担軽減に向け、国が特別交付税措置で支援し、返済を肩代わりする奨学金返還支援制度が、2014年から実施されている。この制度を活用することで地元で定住し、就職することを促すことになり地域の活力を生むことにつながる。本町でも取り組むべきだ。



道の駅完成予想図

吉野教育次長 返済について支援することは地元へのUターンのきっかけになる。定住も期待できるため、町内に住所を有して居住することが前提ではあるが、就職の要件と支援の条件について十分検討の上、令和4年度からの運用開始に向けて取り組んでいきたい。

## 町長の政治姿勢

# 一点の曇りもないか

町長 一点の曇りもない

横暴ぶりが新聞で報じられ、これを見た佐川町民が「ごりゃ、堀見町長も同じじゃないか」と言い出す始末。  
町長は、人のため、世のためと言って育てられ、今は町民の幸せのため、働いていると言っているが、この言葉に対して心に恥じることはないのか、一点の曇りもないのか。

堀見町長 一点の曇りもなく仕事をしてきた。

また、仕事をするうえでは、先輩の意見も聞きながら謙虚にしなければいけないと思ってる。



西森 勝仁 議員

最近の町長の言動たるや、議会軽視に始まり、議長に対する度重なる暴言など許しがたいものがある。ましてや議長は20歳以上も先輩であるが何と心得ているのか。  
これと時を同じくして茨城県城里町の上遠野町長は「東大卒のエリート町長の正体」などその

## 指名業者の契約違反

# 処分は適正か

総務課長 要綱に照らし処分

今回、2件の現場が工

期内に完成しなかったとして処分を受けた大原建設は、町長の同級生企業として周知の事実。

この会社は常々、従業員や会社の規模からして受注過多ではないかとの批判もある。

以前、斗賀野の町営住宅建設工事でも3棟のうち2棟を受注したことがある。しかも、1棟目の落札価格よりも2つとも高く落札しており不自然ではないかとの指摘があったが町長は「全く不自然ではない。3棟とも大原が受注することもある。」との認識がどう



上町の客車収容施設

もキナクさい。

これは、同業者の遠慮や、忖度そのものではないか。また今回の処分は適正か。

堀見町長 大原建設の社長は同級生。選挙の時も応援してもらったが、便宜を図ったことはない。今後この姿勢は変わらない。

麻田総務課長 要綱に照らして2カ月の指名停止処分とした。

岡田チーム佐川推進課長 損害賠償金は453万1千652円を請求し入金があった。

## 地方創生事業

# 4億7千万円の効果は

町長 自伐林業や発明ラボ等

町長は以前議会で「佐川町にとってもものすごいチャンスがやってきた。私は、行政経験はないが、会社経営はやってきた。

地方創生に全知全能をかける。」とって7年が経つ。  
使った予算は約4億7千万。町民には良くなっているという実感がないが、どんな効果があるのか。  
堀見町長 自伐林業では協力隊を中心に林業の形ができてきた。また、発明ラボも子どもたちの創造力を伸ばす取り組みとして広がっていると思う。費用対効果は十分出ている。



発明ラボの内部





橋元 陽一 議員

# 65歳以上のワクチン 確保はいつ

健康福祉課長 6月末見込み

65歳以上の約5千200人のワクチン接種では個人と集団の人数配分をどう想定したのか。ワクチン調達の手続きや個人接種病院への配達段取り、確保の見込みは、接種予約が困難な方への対応をどうしたのか。

今後12歳から64歳以下の約5千800人分のワクチン確保の見通しは。

岡崎健康福祉課長 施設入所者約350人を除く4千850人のうち7割が接種希望すると想定し、その7割を個人接種、3割を集団接種に配分した。

ワクチン調達の手続きは、町が希望量をまとめ、県を通じて国にあげて順次配送されて来る。

ワクチンは超低温冷蔵庫がある高北病院に搬入され、協力病院に搬送している。65歳全員分は6月末までに届く見込みだ。

予約が困難と思われる方々には、ケアマネや民生委員、あつたかふれあいセンターの協力支援を得て、予約登録した。

64歳以下のワクチン確保は現時点では不明だ。

## 新産廃 環境条例制定

# 検討を

町長 必要ないと考える

確認書で被害の責任を県が直接負うと明記している。そのことを協定書にも明確にするべきではないか。

町として町民に責任を負うことを明記した町の環境基本条例制定の検討を求める。

堀見町長 県・町・エコサイクル高知の三者で表現の仕方について協議してまとめていく。

町の立場として町民のいのち、財産、安全を守ることを大前提に三者で協議してきた。現在、町独自の条例制定は必要ないと考えている。



順調に進むワクチン接種

## 高校生までの 医療費無料化を

健康福祉課長 拡充の予定はない



佐川高校

子育て支援制度として、高校生までの医療費無料化の検討を求める。

岡田チム 佐川推進課長 国立社会保障人口問題研究所は2060年の佐川町の人口は5千576人と推計。町は総合計画事業などを進めることで8千922人を目標にしている。

本町の人口動態の推計と人口減少を食い止める総合計画の目標は、人口減少対策を補完す

岡崎健康福祉課長 現時点ではひとり親家庭の18歳までの医療費助成制度がある。子育て支援策として、乳幼児医療費の助成を高校生まで拡充する予定はない。



森 正彦 議員

## 佐川町史 へんさん 編纂すべきだ

町長 町史編纂は大切だ

佐川町史は町制80周年を記念して編纂され40年がたっている。町史を編纂すべきだと思いがどうか。



次の町史はいつできる？

堀見町長 町史編纂は、町の歴史をしっかりと残すということで大切だ、編纂をしたほうが良いと思っている。紙の媒体に加え同じものをデジタルデータとして保存することも考えなくてはいい。

新図書館もできる予定なので住民参加の図書館づくり、町づくりを生かしながら編纂に向けて進んでいくのが良いと思っている。町制施行130年の2030年頃にできるといってもいい。

## 地球温暖化対策

### 町の方針は

町長 木質資源の利用中心

地球温暖化対策は私達の義務として取り組まなければならぬし、そこから生まれる経済もあると思う。この温暖化対策、町長はどのような方針を考えているのか。

堀見町長 国の支援強化が大切だ。その戦略を受けて県のほうでも今年から力を入れてカーボンゼロに向けた取り組みを進めるといふ大きな方向性が出されている。町でも国、県の示された内容に沿って取り組みを進めていくことが大切だ。町の特性を考えると木質資源をどのようにエネルギー利用していくかを中心に考える。

## 町道大平線拡張工事

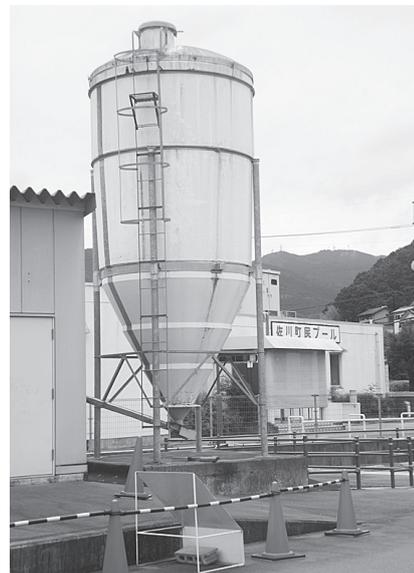
### 完成時期は

建設課長 来年3月完成見込み

斗賀野地区の町道大平線は一部が狭くてフリーでの対向ができない箇所がある。この箇所は平成24年に地元の要望があったものだが、8年近くも動きがなかった。しかし昨年から大きく動き出したと聞いている。進捗状況と完成の時期を聞く。

池内建設課長 町道大平線の拡張工事は地元の要望に添い準備を進めていたが、用地取得に際し相続の権利関係が複雑で連絡も不十分な状態になっていく方がいた。

しかし昨年度から担当職員が粘り強く課題の解決にあたり解消の見通しがたち、本年4月すべての地権者と売買契約を締結できた。10月には入札を行い来年3月には完成の見込みである。



木質チップで温水プール



中村 卓司 議員

地域おこし協力隊事業は総務省がスタートさせた事業で、全国でこの事業が実施されている。佐川町でも平成26年から今年度まで実施されており、多い年には1年間に12人という年もあり、

## 地域おこし協力隊 活動・財政は

チーム佐川推進課長 様々な活動

継続事業であることから重複する年には年間31名もの隊員が佐川町内で活動してきた。

地域おこし協力隊の活動内容や財政的な財源内容はどうなっているのか。

岡田チーム佐川推進課長 今まで8年間に70名の隊員が様々な分野で継続して活動している。

自伐型林業では町が業務委託している森林面積約90ヘクタールのうち7ヘクタールの間伐を行っている。木材量は800立方

メートルで販売価格は約750万円となっている。作業道は約16キロメートル新設した。

発明ラボではレーザーカッターなどを活用し、商品開発や小中学校でのプログラミング教育の支援等を行っている。

その他には農業や植物を通じての町づくり推進等で活用している。

活動の報酬は月額16万4千円であるが特別交付税措置がされており、町の持ち出しは現在のところないとなっている。



山で活躍する地域おこし協力隊

## 道の駅事業

### 開業までの日程は

副町長 準備作業スタート



道の駅物品販売ブース予想図

道の駅事業は議会で初めて取り上げられてから15年がたち、ようやく実現に向けて一歩一歩進み始めたが、まだまだ残された問題は多いと思う。令和5年4月開業までにどのような作業を進めていくのか。

中澤副町長 道の駅の一番中心は物販市場機能だと考えておりその商品化を進めていかななくてはならない。

店の広さから考えると300アイテムは必要だが、現在、観光協会等で販売している商品は100アイテムほどであり、その3倍は必要であり、町外から商品も入れる必要があると思う。農産物については「はちきんの店」が一元的に集荷、品揃えをやっていたけるとありがたい。

おもちゃ美術館は民間ボランティアや学芸員とこのような形で運営に参加してもらいたい。しかし役場として道の駅を進めていくためには早急に運営主体を設立し、準備作業に着手しなければならぬ。一日も早く準備作業をスタートするよう努力する。



宮崎 知恵子 議員

## 新図書館建設 住民意見の反映は

町長 住民とともに

「コロナ禍で外出しにくい今、読書で内面を耕し、自分の価値を高めていくことは非常に有意義であり、認知症予防にもなる。」

文教のまち・佐川の未来のため図書館の建て替えは大きな希望だが、住民への説明や意見の反映をどうするか。

吉野教育次長 町民の皆様へのインタビューを通じて、みんなで創り上げていきたい。

堀見町長 佐川町総合計画は2年間かけて、子どもを含めた住民の皆様の声を集めて創り上げた。

図書館も多くの住民にかかわっていただき、本をきっかけに集い、学ぶことが楽しいと思ってもらえるようにしたい。

## 女性の活躍推進 行動計画成果は

総務課長 女性登用進む

日本は全体的に女性職員・職員の割合が低い。私が所属する幸福実現党公認議員の女性比率は78.6%で、女性でも強みを生かして役に立っている。女性の立場での発言が増えると少子高齢化対策にもなり得る。佐川町の女性職員の活動推進に関する行動計画の成果と今後の継続は。



新図書館建設予定地

麻田総務課長 現時点では次期計画の策定に至っていないが、今後、早い段階で行う。女性職員数は平成27年度以降、半数以上となっている。管理的地位にある職員の女性比率も30%以上の目標をクリアし、女性の登用はかなり進んでいる。

## コロナワクチン副反応や 相談窓口の周知を

健康福祉課長 接種券発送時、説明同封

コロナワクチン接種後の副反応の報告が出ており、今後、接種を進める

若者の副反応は強い傾向にある。副反応に係る相談ができる専門的な相談窓口が必要ではないか。またその周知は。

岡崎健康福祉課長 接種券発送の際、ワクチンの特性や副反応などの説明を同封している。「広報さかわ」にも、国、県、町の相談窓口について周知している。接種の際にも、主治医などに相談いただく旨、説明している。



議場で答弁する女性管理職



下川 芳樹 議員

県が示す環境保全協定の案と、住民アンケートに関する回答書が加茂地区全戸に送付された。県からの具体的な説明会開催はいつか。

## 産廃 環境保全協定 説明会開催はいつ

町民課長 7月下旬から8月上旬めどに

片岡町民課長 現在、県が行っている環境影響評価の調査結果のとりまとめが7月下旬となる。説明会は7月下旬から8月上旬をめどに開催できるように、コロナ感染状況を見極めながら準備を進めたい。

## 新規就農者向け 体験ハウス作るべき

町長 整備していく方向で考える

町内では新規就農者が中古ハウスを斡旋されて、就農体験を行っている。中古ハウスは部材も古く経費や労力もかかり、就農する前にも身体も折れてしまう。佐川町も真剣に新規就農者を育成したければ、県内の先進事例に学び体験ハウスを設置するべきだ。

中澤副町長 新規就農を目指す人向けのハウスは、これまでも検討してきた。土地の保有や借りの問題など課題があるが、どこかで決断しなければならぬ。人・農地プランの実質化でソフト、ハードの支援をしていく。それによって方針を定めエリアごとの後継者を定め、体験のハウスを提供していくことを考えている。



三者による環境保全協定素案

## 防災無線 早朝のチャイム 必要か

総務課長 自治会からの要望受け検討

ず、生活環境を保てない住民もいる。朝6時の放送は本当に必要か。

麻田総務課長 防災無線の定時放送は災害発生時に、確実に放送を行うための確認方法だと考える。

朝6時の定時放送の必要性だが、やめてほしいとの声があれば、地元自治会からの要望を受け、放送回数を減らす検討をする。

早朝より町内に響きわたる防災無線のチャイム。大音量で夜勤明けの睡眠を邪魔されたり、ストレスや疾病で熟睡でき

その他の質問  
新型コロナウイルスの予防接種について



地域に鳴り響く防災無線



永田 耕朗 議員

## 契約工事遅延 どう思う

町長 大変迷惑、遺憾に思う

指名業者の選定は審議会規定があるが、実質は町長の専権事項であると思う。今回、上町のJRR客車収容施設工事と空き家住宅改修工事の2件、同時に契約違反が発生した。もともと落札率99%という町民が不信を抱くような契約工事が遅延となった。行政に対して迷

惑ではないか。

また指名業者の選定については、事業者の規模、技術力、信用等、佐川町の入札、請負業者資格等に関する規定で毎年格付けをしなければならぬ。その格付けが行われていないのは問題でないか。

堀見町長 今回の契約違反、町としても大変迷惑であり、遺憾に思う。

中澤副町長 指名業者の格付けを行う契約審議会の会長という立場でありながら着任以来、その存在自体を承知してなかった。お詫びを申し上げる。

## 職員の辞職が多い 行政の責任は

町長 地道に取り組む

ここ何年か職員の辞職が異状に多い。役場の中に何か問題がありはしないか。公務員の職を選んでもその職を辞職しなければならぬ状況は、佐川町民として幸せは感じていないと思う。

役場の職員が次から次へと辞めるということからは、行政の責任、行政の長として道義的な責任がありはしないか。



庁舎は改修されたが・・・

堀見町長 5年間で14人退職した。大変多いなど感じている。組織として問題があるのではなかったこともある。辞職した職員の話も聞き、一生懸命受け止めてきた。役場組織を良くする、元気にする、楽しく仕事ができるようにするのは私の責任。地道にやり続けている。

## 町長の職命おごりでは 君子であれ

町長 修行している

職務命令、めったに聞かない言葉である。3月12日午後、議長、前議会議務局長、総務課長に対して職命で議会議務局長を配置しないとされた。以来、4月、5月の

例月監査も事務局長不在で行った。十分な体制ではなかったと考える。佐川町政の歴史に1つの汚点を残したと考える。

今回の町長の職務命令発言はあまりにも乱暴ではないか。厳しく言うならば、おごりと言われても仕方がない。一度吐いた言葉は飲み込めない。町長として君子になるべきではないか。

堀見町長 皆さんから鍛えられ少しずつ辛抱強くなってきた。しかし君子になるのは難しく、一生懸命修行している。



ただ今修行中！

# あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ

No.57

編集後記



## 防災士の資格取得に助成を行うべきだ

(令和2年3月議会)

地域の防災リーダーを育てることは防災・減災につながる。防災リーダーの育成を目的に、本町においても、防災士育成講座の開催と、防災育成講習の受講・資格取得に対しての助成を。(松浦議員)

## 町長答弁

### 町としては考えていない

町主催の講座については、自主防災組織連絡協議会の声も聞きながら進めたい。防災士取得にかかる補助金は考えていない。

### 令和3年4月から助成開始

地域防災力の向上の担い手となる人材を養成及び確保することによって、災害に強いまちづくりを推進することを目的に、防災士の資格を取得した際に要した費用を定額交付(受験料3千円、登録料5千円)

どうなった

あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月3日(金)午前9時開会予定です。傍聴においでください。

### 議会広報編集委員会

委員長	下川 芳樹
副委員長	西森 勝仁
委員	坂本 玲子
委員	宮崎知恵子
委員	橋元 陽一

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

一昨年の春よりコロナウイルスの影響で、佐川町の生活スタイルも大きく変わりました。人と人との交流が制限されることで、こんなにも重苦しい社会になるとは誰が想像したことでしょう。8年間の広報委員会活動の最後を飾る編集後記、皆さんにお伝えしたいのは情報の重要性です。議会での協議内容は佐川町の未来の縮図です。その未来を皆さんにしっかりと伝えて共有し、よりよい佐川町を皆さんとともに作り上げていく議会だよりを、これからもよろしくご支援ください。

下川 芳樹

# 地域で がんばる



隊長の岡村建介さん

今回は尾川地区で、若い者にはまだまだ負けんと頑張っている、おいぼ連隊の隊長・岡村建介さんにお話を伺いました。

## おいぼ連隊 (尾川)

—いつ頃から活動を始めましたか。

昨年の4月頃から、隊長の呼びかけに賛同してくれた5名の隊員により活動日を決めず始めました。

—どんな活動をしていますか。

尾川地区活性化協議会が管理をしている公園ですが、年間行事の中で限定的な草刈りしか行われていませんでした。

公園をいつもきれいにしたいと思い、公園の全体的な草刈りを毎週金曜日に行っています。



おいぼ連隊の皆さん

—現在11名の隊員があられますが、どのようなメンバーですか。

活性化協議会の中でも、あまり表に出ない方に声掛けて、出来るこ

と出来るときをお願いしました。メンバーにはおいぼれでないキコリンジャリーの1名も参加しています。

—やっつけてよかったと思ふことは何ですか。

公園内をウォーキングしている方から、きれいになったねと声を掛けられるとうれしいです。

他のコースを歩いている方も公園を利用していただき、気持ちよく活用してもらえば最高です。



みんなで公園をきれいにしたい



丁寧に草を刈っていきます

きれいな公園づくり、いいですね。これからも若いものに負けず、おいぼれパワーで頑張ってください。

あなたの周りで、佐川町の元気のために頑張っている「組織やグループ」をぜひご紹介ください。